

岩谷十郎教授

最 終 講 義

「ボアソナードを語り 継ぐ法学者たち」

法学部において37年間の長きに亘り日本法制史を講じて来られた岩谷十郎教授が、この3月をもって定年退職されます。そこで、岩谷教授がこれまで研究を重ねて来られた、明治初期におけるお雇い外国人を介した法の継受のあり方について、ご自身の研究の歩みを振り返りながらお話しいただきます。

日時

2026年 3月7日(土)
15:00~16:30

会場

慶應義塾大学
三田キャンパス
西校舎517教室

対象

教員・学生・一般



※どなたでもご参加いただけます
(事前登録不要)。お問い合わせは、
法学部・出口雄一までお願いします。
Mail: ydeguchi@keio.jp

会場

